

# 第2次札幌市アイヌ施策推進計画

(案)

【概要版】

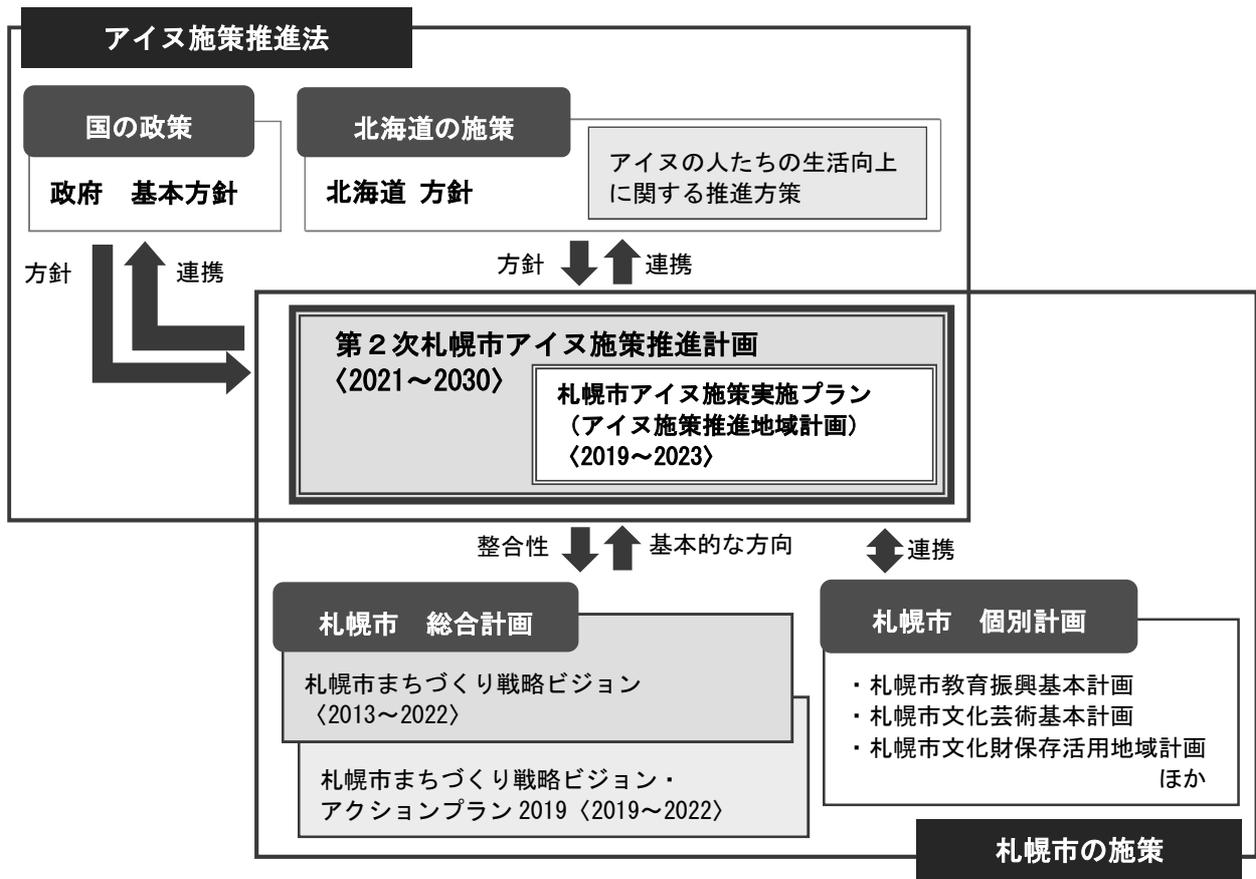
# 1 計画の策定

## 1 計画策定の趣旨

平成 22 年（2010 年）9 月、本市が策定した「札幌市アイヌ施策推進計画」は、策定当時、国において総合的なアイヌ施策の推進について協議が進められており、その動向次第で計画を見直す必要が生じることから、具体的な計画期間は定めず、概ね 10 年間をめどとして、本市が取り組む施策などを整理しました。そして、令和元年（2019 年）5 月、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」（以下「アイヌ施策推進法」）の施行により、アイヌ施策の新たな基本理念が示されるなど、前計画の策定から 10 年を経て、アイヌ施策を推進するための環境にも変化が生じ、計画を見直すべき時期に至りました。そのため、前計画の計画期間は令和 2 年度（2020 年度）をもって終了とし、本市のアイヌ施策の基本的な考え方や具体的な取組を改めて整理し、総合的かつ計画的にアイヌ施策を推進していくため、「第 2 次札幌市アイヌ施策推進計画」を策定します。

## 2 計画の位置付け

アイヌ施策推進法や、政府が定めた「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針」、本市のまちづくりの総合計画「札幌市まちづくり戦略ビジョン」などの方向性を踏まえながら、本計画を推進していきます。



## 3 計画期間

令和 3 年度（2021 年度）～令和 12 年度（2030 年度）〈10 年間〉

## 2 現状と課題

### 1 前計画の取組

前計画では、「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現」を計画の目的とし、以下の3つの施策目標に沿って、様々な取組を行いました。

施策目標	主な取組
市民理解の促進	地下鉄さっぽろ駅構内に、アイヌ文化を発信する空間「ミナパ」を設置
	アイヌ文化体験講座や、小中高校生団体体験プログラムを実施
	アイヌ民族と公募市民が、共同でアイヌアート・モニュメントを制作
伝統文化の保存・継承・振興	アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生事業を実施
	札幌市アイヌ文化交流センターに、記念撮影コーナーなどを設置
	「札幌市アイヌ文化交流センターの指定管理者制度導入」は実現に至らず
生活関連施策の推進	札幌駅前通地下歩行空間で、アイヌ民工芸品販売会を開催
	アイヌ生活相談員・アイヌ教育相談員を配置
	「市街地に相談・交流の場を確保」は実現に至らず

### 2 意見交換会

本計画の策定に先立ち、アイヌ民族の視点から見た現状を把握するため、アイヌ文化の保存や継承などに関わるアイヌ関連団体と、意見交換を行いました。

区分	主な意見
伝統文化の継承について	年長者から若い世代へ、アイヌ文化を継承する機会が、希少なものとなっている。
	アイヌ文化を継承していきたいという思いはあっても、生活を優先せざるを得ない状況にある。
	アイヌ民族であることを理由として、伝統文化の実践や継承を強要されたくない。
アイヌ民族に関する理解の促進について	アイヌ文化に関心がありながらも、関連するイベントなどの情報を得られていない人が多いと思う。
	子どもの頃から、アイヌ文化に触れる機会があればよいと思う。
札幌市アイヌ文化交流センターについて	札幌市アイヌ文化交流センターの展示に関する案内や、催事などを充実させてほしい。
アイヌ民工芸品の販売について	札幌からアイヌ文化を発信するための拠点として、観光客が集まる場所に、アイヌ民工芸品の販売場所があればよいと思う。
その他自由意見	アイヌ文化と言えば特別視されがちだが、文化の違いによらず、互いを尊重できるまちになればよいと思う。
	アイヌ施策に取り組む上で、意見交換の機会を定期的に設けるなど、アイヌ民族と共に考えてほしい。

### 3 市民意識調査

計画の策定に先立ち、市民の視点から見たアイヌ施策の現状について把握するため、本市のアイヌ施策に関し、市民意識調査（令和2年度第1回）を実施しました。

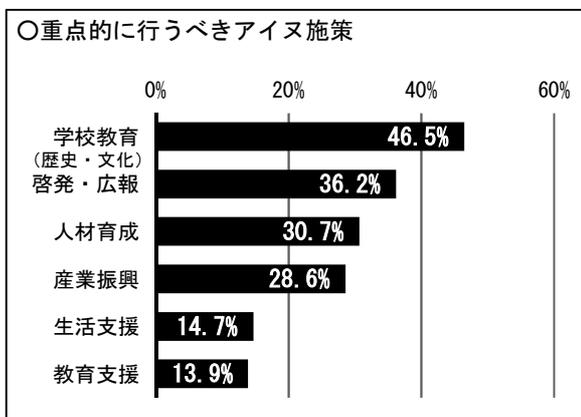
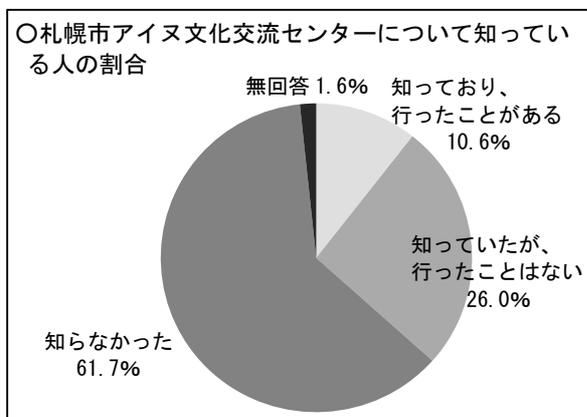
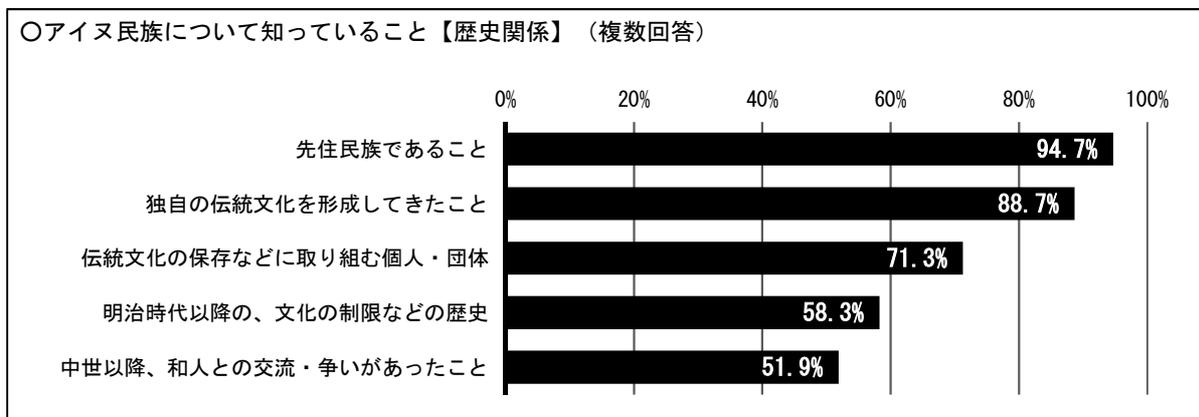
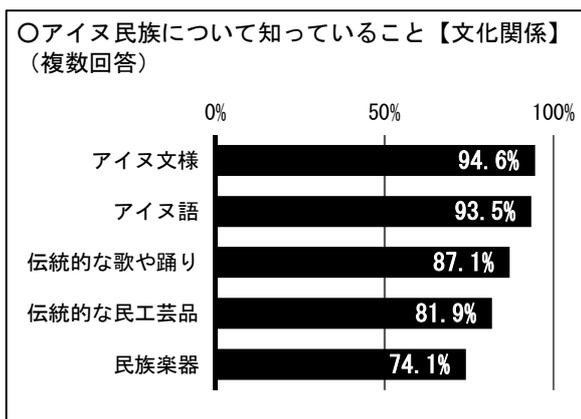
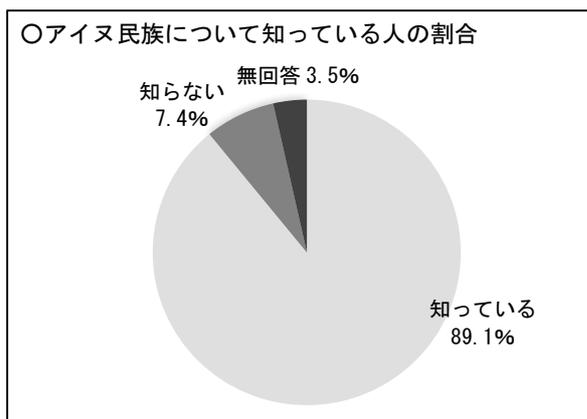
#### 【調査概要】

調査期間：令和2年（2020年）6月26日（金）～7月10日（金）

調査対象：無作為に選ばれた18歳以上の市民5,000人

回収数：2,933通（回収率：58.7%）

#### ■調査結果



## 4 課題

以上の現状を踏まえると、アイヌ施策の展開に当たり以下のような課題が挙げられます。

課題	概要
伝統文化の継承を担う人材の育成	アイヌ民族の中でも、伝統文化の継承に関して多様な考え方があることに配慮しながら、アイヌ文化の継承を担う人材育成が必要である。
アイヌ民族への理解の促進	アイヌ民族について、幅広く、持続的に理解を得られるよう、啓発活動や学習機会の確保を継続的に実施していくとともに、広報の手法に関する工夫などが必要である。
札幌市アイヌ文化交流センターの利用環境の充実	同センターの認知度の向上に加え、展示物の案内手法に関する工夫や多様な催事の開催など、利用環境の充実に取り組んでいく必要がある。併せて、指定管理者制度の導入についても、検討が必要である。
アイヌ民芸品の販売場所の設置	市民や観光客が身近にアイヌ文化に親しむことができるよう、アイヌ民芸品が気軽に購入できる常設的な販売場所の設置が必要である。
アイヌ民族の交流・継承の場の確保	アイヌ文化の継承に当たり、幅広い世代のアイヌ民族が集い、交流や伝統文化を継承するための場（機会）の確保が必要である。

## 3 基本理念と施策目標

### 1 基本理念

アイヌ施策推進法では、同法の基本理念に沿ってアイヌ施策を策定し、実施することを地方公共団体の責務の一つとして規定しています。その責務を果たしていくため、本計画を策定し、本市のアイヌ施策を総合的かつ計画的に推進するための基礎を構築した上で、各施策の展開を通じ、同法の目的として示された「アイヌ民族の誇りが尊重される社会の実現」を図る必要があります。そのため、本計画の基本理念は、前計画の目的を引き継いで「アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現」と定めます。

### 2 施策目標

令和元年（2019年）9月、政府が定めた「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本的な方針」は、アイヌ施策の実施に当たり、アイヌ民族が抱える課題の解決を図るためには、従来の文化振興施策や生活向上施策に加え、地域振興、産業振興、観光振興などを含めた施策を総合的かつ効果的に推進し、また、未来志向で施策を継続的に推進することが重要としています。本計画では、基本理念の実現に向けて、同方針や前述の課題を踏まえて5つの施策目標を定め、各施策を展開していきます。

課題	施策目標
伝統文化の継承を担う人材の育成	アイヌ文化の保存・継承・振興
アイヌ民族への理解の促進	アイヌ民族に関する理解の促進
札幌市アイヌ文化交流センターの利用環境の充実	体験・交流の促進
アイヌ民芸品の販売場所の設置	産業等の振興
アイヌ民族の交流・継承の場の確保	生活関連施策の推進

## 4 具体的な取組

### 1 計画体系

#### 《基本理念》アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現

##### 施策目標 1 アイヌ文化の保存・継承・振興

- 推進施策 1 アイヌ文化の継承と人材育成
- 推進施策 2 アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生

##### 施策目標 2 アイヌ民族に関する理解の促進

- 推進施策 1 アイヌ民族に関する啓発活動の推進
- 推進施策 2 アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

##### 施策目標 3 体験・交流の促進

- 推進施策 1 札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出
- 推進施策 2 アイヌ文化の体験・交流の機会創出

##### 施策目標 4 産業等の振興

- 推進施策 1 アイヌ文化のブランド化の推進
- 推進施策 2 アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進

##### 施策目標 5 生活関連施策の推進

- 推進施策 1 生活環境等の整備

### 2 各施策の具体的な取組

#### 施策目標 1 アイヌ文化の保存・継承・振興

##### ■推進施策 1 アイヌ文化の継承と人材育成

###### 【具体的な取組】

- ・ 伝統文化の担い手を育成する仕組みの検討【新規】
- ・ 交流・継承の機会の確保に関する検討【新規】
- ・ アイヌアート・モニュメントの制作・展示

ほか

##### ■推進施策 2 アイヌ民族の伝統的な生活空間（イオル）の再生

###### 【具体的な取組】

- ・ イオルでの自然素材の育成
- ・ 自然素材を活用した体験機会の創出

## 施策目標 2 アイヌ民族に関する理解の促進

### ■推進施策 1 アイヌ民族に関する啓発活動の推進

#### 【具体的な取組】

- ・ アイヌ関連施設などの観光プロモーション【新規】
- ・ アイヌ文化体験講座の開催
- ・ アイヌ文化を発信する空間「ミナパ」での情報発信

ほか

### ■推進施策 2 アイヌ民族の歴史の尊重と教育施策の充実

#### 【具体的な取組】

- ・ 民族共生象徴空間と連携した学習の実施【新規】
- ・ 小中高校生団体体験プログラム、小中高校生団体出前体験プログラムの提供
- ・ 札幌市アイヌ文化交流センターの展示内容の充実

ほか

## 施策目標 3 体験・交流の促進

### ■推進施策 1 札幌市アイヌ文化交流センターの魅力創出

#### 【具体的な取組】

- ・ 文化体験コーナーの設置【新規】
- ・ 札幌市アイヌ文化交流センター中庭の再整備【新規】
- ・ 指定管理者制度導入に関する検討

ほか

### ■推進施策 2 アイヌ文化の体験・交流の機会創出

#### 【具体的な取組】

- ・ 体験・交流イベントの開催
- ・ 伝統儀式の開催に合わせた交流機会の創出

ほか

## 施策目標 4 産業等の振興

### ■推進施策 1 アイヌ文化のブランド化の推進

#### 【具体的な取組】

- ・ アイヌ民工芸品の販売機会の確保【新規】
- ・ アイヌ民工芸品のブランド化

### ■推進施策 2 アイヌ文化に関する観光プロモーションの推進

#### 【具体的な取組】

- ・ アイヌ関連施設などの観光プロモーション【新規】（再掲）
- ・ 「シーニックバイウェイ北海道」との連携

ほか

## 施策目標 5 生活関連施策の推進

### ■推進施策 1 生活環境等の整備

#### 【具体的な取組】

- ・ アイヌ生活相談員、アイヌ教育相談員の配置
- ・ アイヌ民族の児童・生徒への学習支援
- ・ 交流・継承の場の確保に関する検討

ほか

## 5 計画の推進

### 1 計画の推進体制

本市の附属機関である札幌市アイヌ施策推進委員会で、各施策の進捗状況に関する検証を行うとともに、施策の円滑な実施のため、国や北海道、本市の関係部局などと連携を図りながらアイヌ施策を推進します。また、アイヌ関連団体との意見交換などの機会を確保しながら、施策の充実に取り組めます。

### 2 指標

施策目標	指標項目	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和12年度)
1	「個人や団体としてアイヌ語や伝統文化の保存・継承・振興などに取り組んでいるアイヌ民族がいること」について知っている人の割合（※）	63.5%	80.0%
	伝統文化の担い手育成の仕組みの構築	—	構築
2	アイヌ民族について知っている人の割合	89.1%	100.0%
3	札幌市アイヌ文化交流センターについて知っている人の割合	36.6%	60.0%
4	「アイヌ民族独自の伝統的な民芸品があること」について知っている人の割合（※）	73.0%	80.0%
	アイヌ民芸品の常設的な販売場所の設置	—	設置
5	交流・継承の場の確保	—	確保

※ アイヌ民族について「知らなかった」を選択した人も含めた回答総数から、現状値を再計算しています。

また、令和元年（2019年）9月に作成した「札幌市アイヌ施策実施プラン（アイヌ施策推進地域計画）」では、計画期間となる令和5年度（2023年度）に向け、以下の指標を設定しています（令和6年度以降は、次期プランで新たに指標を設定予定）。同プランで設定する指標も、本計画の取組の検証・評価に使用します。

#### ■札幌市アイヌ施策実施プランの指標（参考）

指標項目	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和5年度)
アイヌ文化体験講座年間参加者数	180人	300人
小中高校生団体体験プログラム・出前体験プログラム年間参加校数	90校	130校
民族共生象徴空間バスツアー年間参加者数	—	1,000人
札幌市アイヌ文化交流センター年間来館者数	58,241人	62,000人
体験交流事業年間参加者数	103人	150人
アイヌ民芸品販売会年間購買者数	—	1,000人